

第七十五回
帝國議會
貴族院

會計検査院法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午前十時九分開會

○委員長(子爵加藤泰通君) 會議ヲ開キマス

○政府委員(廣瀬久忠君) 本日ハ主管大臣タル總理大臣ガオイデニナルト宜イト思ヒ

マシタガ、非常ニ多忙デ誠ニ失禮デアリマスガ、私カラ柴田委員ノ御質問ニ對シテ答辯スルヤウニト云フコトデゴザイマシタカラ、私カラ答辯ヲ申上ゲマス、柴田委員ノ御質問ノ要旨ハ、政府委員ヨリ能ク聴キ

マシタシ、又速記録等ニ付キマシテモ拜見致シマシタ、御趣旨ハ多額ノ所得者ノ恩給停止ヲモット度ヲ強メテヤッタラドウカ、サウシナイト徹底シナイデハナイカト云フ御意見ノヤウニ拜聴シタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ篤ト協議ヲ致シマシタノデアリマスルガ、政府ハ矢張り政府原案ヲ以テ最モ適當ト考ヘルノデアリマシテ、多額所得者ノ恩給停止ヲ政府案以上ニ致シマスコトハ、是ハ適當デナイ、少シ過ギテハ居リ

ハシナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ今回政府案ノ通りニ改正致シマスレバ、政府ノ信ズル所デハ、將來先ツ此ノ規定ノ改正ノ必要ハナイモノデアルト云フ工合ニ考ヘルノデアリマス、右様ノ次第デアリマスルカラ、本規定ノ修正ト云フコトニ付テハ、誠ニ遺憾ナガラ御同意申上ゲ兼ネルト云フヤウナ考デアリマス、以上政府ノ考ヲ申上ゲマス

○柴田善三郎君 御答辯ノ趣旨ハ分リマシタガ、案ニ依リマスト一萬一千圓以上ノ所得者ニ付キマシテハ、三割ト云フコトニナツテ居リマス、減額率ハ比例的ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノヤリ方ハ當分御變ヘニナラナイト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(廣瀬久忠君) 此ノ改正ヲ致シマスレバ、將來ニ於テ改定ノ必要ハナイト政府ハ信ジテ居ル次第デアリマス

○柴田善三郎君 政府委員カラ御聴取リ下サイマシタデセウガ、大體斯ウ云フ規定ハ屢、御變更ニナラナイガ宜イト私モ考ヘマス、併シ一面ニ於キマシテハ、一部ノ意見トシテハ、或ハ恩給ノ増額ヲ阻止スル方法ヲ取レト云フヤウナ聲ハ幾ラカアルデヤナイカト思フノデス、サウ云フ場合ニハ是非

共同問題ハ恩給ノ年限ヲ如何ニスルカ、或ハ停止減額ノ程度ヲ如何ニスルカト云フヤウナ問題ガ勢ヒ殖エテ來ルノデヤナイカト思フノデアリマス、併シ私ノ意見トシテハ、斯ウ云フ問題ニ付テ屢、變改ヲ加ヘルト云フコトハ、極メテ宜シクナイコトダト云フ考ヲ有ツテ居リマス、御承知ノヤウニ此ノ二點ニ關スル問題トシテハ、昭和八年當時改正ガアツタ、サウシテ今回又停止ノ規定ダケガ改正サレマシタ、今後改正スルストスレバ、短イ期間ニ三回ニ互ツテモ改正ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトニナルノデアリマス

カラ、是ハ是非サウ云フコトハシテ戴キタクナイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ今御話ノ停止ニ關スル規定ヲ、即チ今ノ三割ニ止メルト云フ規定

ヲ、更ニ進メルト云フコトヲ、今後ニシナイト云フコトデアリマスルナラバ、屢、變改ヲ加ヘナイト云フ點カラハ結構デアリマスルガ、併シ此ノ案ヲ拜見致シマスルト、所得或ハ恩給千圓ト假定致シマシテ、其ノ他ノ所得四千圓以上ノモノニ付キマシテハ、一萬一千圓ニ至ル間ニ於テ五千圓、八千圓、一萬一千圓ト云フヤウナ幾ツカノ段階ヲ設ケテ、而シテ減額ノ率ヲ違ヘテ居ルト云フヤウナコトデアリマス、此ノ位ノ所得ニ付キマシテ、コンナ澤山ノ段階ヲ設ケマシテ、率ヲ異ニシタ規定ヲ致シテ居リマスル例ハ、所得稅ニ付テ見テサヘモ存在致サナイノデアリマス、今回御提案ニナツテ居リマス所得稅法ノ改正法律案ヲ見マシテモ、綜合所得稅ニ付テハ五千圓、八千圓、一萬二千圓ト云フヤウナ所ヲ以テ段階ニ致シテ居リ、ソレヨリモ却テ此ノ方ガ刻ミ方ガ細カイト云フヤウナコトニナツテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトデアリマスカラ、所得稅ノ如キモノデアリマスナラバ、幾ラ細カク切りマシテモ、ソコニ私ハ理由ガヨリ多ク立ツデハナイカ、所得稅ノ課率ナドニ較ベテ見マスレバ、斯ウ云フモノノ方ガ段階ガ大キクテ宜イモノデヤナイカト、性質上考ヘマス、ソレダノニ斯ウ云フ切り方ヲナスツテ居ラレルノデアリマスカラ、必ズヤ聲トシテ、將來ニ一萬一千圓ヲ超ユル金額ニ付テ、今ノヤウナ減額率デハ適當デナイト云フ聲ガ必ズ起ツテ來ルノデハナイカト思ツテ居リマス、サウシテ斯ウ云フ點ニ

關スル所得稅ノ規定ヲ見マスレバ、矢張り一萬二千圓以上ニ付キマシテハ二萬圓、三萬圓、五萬圓、八萬圓ト云フヤウナ、其ノ以上非常ニ多數ノ段階ヲ設ケテ居ル、然ルニ此ノ恩給ニ付キマシテハ、サウ云フ段階ヲ設ケテ減額率ヲ進メルト云フコトハ、不適當ナリト云フコトヲ、是ハ方針トシテ仰シヤツテモ、ソコニドウ云フ根據ガアルカ、又其ノ理由トシテハ篤ト私共ニハ吞込メナイモノト思ヒマス、モウ少シサウ云フ御方針デアリマスルナラバ、何故ニ之ガ不穩當カ、唯政府ハサウ思フト云フヤウナ御斷定デナシニ、基ク處ヲ少シ私共ニ御示シヲ願ヒタイ、斯ナ風ニ御願ヒ致シマス

○政府委員(總員三君) 私カラ御答ヘ申シ上ゲマスガ、ドウモ非常ニ見様ニ依リマシテムツカシイ實ハ質問デアリマシテ、綜合シテ之ガ適當ダト云フヤウニ、政府トシテハ考ヘテ居リマスルノデ、之ヲ分解的ニ此ノ理由カラ此ノ程度、此ノ理由カラ此ノ程度ト云フ風ニ細カク申上ゲラレマセスガ、所得稅ナドニ於キマシテハ上ノ方ノ階段ニ屬スルモノモ非常ニ多ウゴザイマスガ、恩給ニ於キマシテハ是ハ實際ノ問題ニ顧ミマスト、極ク上ノ階段ハ非常ニ少イ譯デアリマシテ、特ニ其ノ上ノ段階ヲ多ク刻ムト云フコトガ理論デハ正シイコトデアリマスケレドモ、サシタル實益ハナカラウト云フコトガ主ナル理由デアリマス、ソレト尙其ノ外ニ恩給ト云フヤウナモノノ性質ノ方カラ莫然ト、トデモ申シマセウカ、通觀致シマス

ト、先ヅ或「レベル」迄上ガル迄ニハ稍、精密ナ旬切リガ必要デアラウケレドモ、或「レベル」迄上ツテカラハ負擔力ニ應ジテ取ラレル所得稅ナドト違ヒマシテ、或程度一樣デアツテモ宜シカラウト云フコトモ考ヘラレル譯デアリマス、マア兩面ノ理由ニ依リマシテ、只今廣瀬長官カラ申上デマシタヤウナ結論ヲ、政府ヂヤ取リマシタヤウナ譯デアリマシテ、或ハ御質問ニ對シマシテ十分ナ御答辯ニナツテ居ラスカモ存ジマセヌケレドモ、事實ハサウ云フヤウナ事情デアリマス

○柴田善三郎君 先達デノ御説明ノ中ニ、此ノ多額所得ノ適用ヲ受ケル者ハ千五百人内外ノヤウナ御話ニ記憶致シテ居リマスガ、ソレデ間違ヒナイデセウカ、其ノ千五百人ヲ恩給外ノ所得ニ依ツテ區分致シマスト云フト、恩給外ノ所得五千圓以上ノ者ガ何人、六千圓以上ノ者ガ何人、八千圓以上ノ者ガ何人、一萬圓以上ノ者ガ何人ト云フコトニ付テハ何カ御調ベニナツタモノガアリマセウカ、アリマシタラソレヲチョット承リタイト思ヒマス

○政府委員(總員詮三君) 一昨日來問題トナツテ居リマス五萬圓以上ト云フモノヲ取リマス三十四人バカリアリマス、ソレカラ十萬圓以上ニナリマス、十四人、十五萬圓以上ニナリマス、是ハ二十萬圓未満デアリマスケレドモ、ソレハ一人、ソレカラ更ニ二十萬以上ト云フノガ十人アルト云フコトニナツテ居リマス、マア全體四十萬バカリノ受給者ニ對シマシテノ是ダケデアリマスカラ、人數ニスレバ非常ニ少ナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○柴田善三郎君 私ハ只今御説明ヲ承リマ

シテ、實ハ私ノ想像シテ居ッタヨリハ多額所得者ノ數ガ却ツテ多イノデアリマス、私ハ必ズシモ五萬圓以上ノ所得者ト限ル必要ハナイ、或ハ立法ノ技術ノ上カラ申スナラバ、一萬一千圓ノ上ヲ或ハ二萬圓ニシ、三萬圓ニシ、次デ五萬圓ニスルト云フヤウナ方法モアラウト思ヒマス、假ニ先達申上デマシタヤウニ、五萬圓以上ト云フコトニ致シマシテモ、五十人ヲ超エル數ニナツテ居ルノデアリマス、大體多額停止ノ規定ノ適用ヲ受ケル者ガ全體デモ僅カニ千五百人デアル、其ノ中特ニ高額所得者ト云フベキモノハ五十人ニモ達シテ居ラヌト云フコトナラバ、此ノ爲ニ一ツ法ヲ設ケルト云フコトデアルナラバ、或ハ御考ヘニナル餘地ガアルカモ知ラス、併シ御改正ニナル中ノ唯一ツノ段階ヲ作ルカ否カト云フヤウナ意味ニ止ツタモノデアルト云フコトデアルト、ドウモ政府ガ此ノ以上ノ段階ヲ作ルノハ不穩當デアルトカ、或ハ少數者ノ爲ニ規定ヲ設ケルト云フコトハ不適當デアルトカ云フ御説明ハ、ドウシテモ諒承致シカネルヤウニ思フノデアリマス、斯ウ云フ見解カラ申シマシテモ、政府トシテハ前ノヤウナ御見解ヲ御採リニナルコトデアリマセウカ、改メテモウ一度承リタイ

○政府委員(廣瀬久忠君) 政府ト致シマシテハ先程申上デマシタ通りノ見解ヲ採ル積リデゴザイマス

○柴田善三郎君 サウ云フ御見解ヲ御採リニナルトスレバ、數ガ少ナイカラト云フノデハドウシテモ理由ニナラナイデヤナイカ、兎ニ角數ハ多カラウガ少カラウガ、上ノ者ニ對シテ率ヲ變ヘルト云フコトハ不穩當ダ、斯ウ云フ理由以外ニハ理由ハ立たヌヤ

ウニ私思フノデアリマス、何カサウ云フ強イ御主張ヲ有ツテ居ルナラバ、上ノ者ニ高イ課率ヲ、減額率ヲ課スルト云フコトハドウモ社會上ト云フカ、政治上ト云フカ、何カ不穩當ダト云フコトニ付テノ一ツ御示シヲ願ヒタイ

○政府委員(總員詮三君) ドウモ少シ討論メイト答辯ニナリマシテ甚ダ恐縮ニ存ズル譯デスガ、數ガ少ナイカラバカリデハナイノデゴザイマシテ、數ノ少ナイト云フコトモ一ツ考慮ニ入レテ宜カラウト云フコトガ趣旨デゴザイマス、ソレデマア所得稅等ニ於ケルヤウニ、總テ擔稅力ト申シマセウカ、負擔力ニ應ジテ何處迄モ畫ニ一行カナケレバナラスデヤナイカト云フコトニハ、少シ此ノ恩給ナルモノト稅ノ方トデハ、少クデモ程度ノ差ガアルノデヤナイカト思ハレマス、デ非常ニ精密ニ擔稅力ニ應ズベキ租稅方ト同様ニ取扱ハナクテモ宜イノデヤナイカト云フ感ジガ多分ニアルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ上ノ方ハ數モ少ナイシ、旁、以テ大難把ニ切ツテ置イテ宜カラウト云フ考ヲ有ツタ譯ナノデアリマス、其ノ一萬一千圓ノ段階ノ分迄ノハ、從來合計六千圓ト云フ所カラ、一萬一千圓ヲ一飛ビデモ飛ベナイコトハナイノデアリマスケレドモ、ソコヘ現在アリマス停止率ト、今度一萬一千圓以上ヲ考ヘテ居リマス場合ニ、三割ト云フ停止率トヲ持込シテ、ソレヲ均ラサナケレバナナイ事情ニ考ヘラレマス、デ新シク設ケル合計五千圓、即チ四千圓ノ所迄下ゲテ停止スルモノノ率ヲ、之ヲモット引上ゲテ規定致セバ、ソコニ鈎合ガ取レマスケレドモ、原案ニ於ケルガ如クニ、一割五分ト云フコトニ致シマシテ、一萬一千圓以上

ヲ三割ト云フコトニ致シマシテ、サウシテ其ノ中ヲ考ヘルト、一足飛ビニ飛ビマスト云フト、言ヒ換ヘレバ途中ニ一ツ段階ガナイト、其ノ率デハ著シクソコノ間ニ開キガ生ズル感ジガ殘リハセヌカ、結局途中ノ段階ハドチラカト申セバ、其ノ邊ノ妥當デナイ所ヲ是正スルト申シマセウカ、調整スルト申シマセウカ、其ノ意味ニ於テ一階段ヲ設ケルト云フ結果デアリマス、立法ノ沿革ヲ申上デレバサウ云フヤウナ譯デ、段階ヲ先ヅ拵ヘテ置イテ、ソレ相當ノ率ヲ盛り込マウト云フ元々是ガ趣旨デハナカッタノデアリマス、デ御説ノ如クニ今度作ルノ六千圓カラ一萬一千圓ニ飛ブト、其ノ中途中ニ段階ヲ置カヌト云フコトモ、金額ニ付テ段階ヲ設ケルト云フ方カラ見レバ、誠ニソレデモ其ノ方ガ或ハ結構ダラウト思ヒマスケレドモ、今申シマシタヤウナ率ノ方カラ逆ニナツテ來マス、ドウモソコニ一ツ置カナイト不公平ニナツテ參リマス、下ノ方ノ率ヲ以テ行キマス……今其ノ數字ハチヨット計算シテ見ナケレバ分リマセヌガ、七千圓位ノ所ガ飛ビマス、逆ニ減ル場合ガ生ジマス、ソレモ今度ノ改正ノ趣旨デナイコトハ疑ヒナイノデアリマスカラ、其處デソレヲ維持スル、現狀ノ率ヲ維持スルコトニ致シマス、今度ハ上ノ方ヘ著シク不公平ナ關係ヲ生ジテ來ルト云フヤウナ、上下ニ停止率ニ付テ困ル所ガアリマス爲ニ、ソレデ一階段ヲ設ケルト、丁度一萬一千圓迄ガ緩ヤカニ行ク、從ツテ一萬一千圓迄ガ少々刻ミ方ガ多過ギルデヤナイカト云フヤウナコトニナリマス、サウ云フヤウナ趣旨デゴザイスノデ、ドウモ此ノ途中ノ段階ヲ一ツ抜クト云フコトハ、チョット困ルヤウニ考

ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ上ニ幾ツモ段階ヲ作ルト云フコトデアリマスガ、先程申上デマシタヤウナ譯デ、政府ノ方針ハ法制局長官カラモ申上デマシタヤウナ結果ニナリマシタノデスガ、元々サウ幾ツモ一萬一千圓迄ニ段階ヲ作リタイト云フコトカラ出發シテ居リマセヌノデ、段階ノ方ハ率ノ方カラ仕方ガナシニ實ハ餘分ニ作ツタヤウナ譯デアリマスカラ、上ノ方ノ段階ヲ特ニ作ッテ、サウシテソレニ多クノ停止率ヲ適用シテ行キタイト云フヤウニハ實ハ考ヘテ居リマセヌ、ソシテヤウナ譯デ、方便ノ方ガ先ニ立ッテ、其ノ結果幾ツモノ段階ヲ作ツタ云フコトニナッテ、其ノ點ハ理論的ニ仰ッシヤラレト、少々痛ミ入ルノデゴザイマス

ケレドモ、サウ云フヤウナ所カラ出來テ居リマスノデ、從ッテ上ノ方ニ段階ヲ新タニ作ッテ置カウト云フ考ガ其處ニハ出テ來ナイト云フ譯デアリマス

○柴田善三郎君 大體此ノ多額恩給停止ノ規定ヲ拜見致シマス、恩給千圓ト云フモノヲ基準ト致シマシテ、若シ千圓以上ノ恩給ヲ受ケテ居ル者ニ對シテハ、ドンナ場合ガアツテモ、如何ニ高率ノ率ヲ以テ減額シテモ、千圓ダケノモノハ給與シテヤラウ、斯ウ云フ法ノ建前カラ出來テ居ルヤウデゴザイマスガ、サウスルト假ニ三萬圓、五萬圓ト云フヤウナ所ヘ段階ヲ設ケマシテモ、假ニ五割減スト云フコトデアツテモ、千圓ダケノモノハ給スルト云フ主義サハ御破リニナラナケレバ、恩給ニ付テ減額ノ度合ヲ一層高額ノ所得者ニ付テ設ケルノハ不適當ダト云フ理由ハ、假ニアツテモ自然ニ消滅スル、又一般ノ立法ノ建前ヲ少シモ御崩シニナッテハ居ラスト、斯ウ云フ風ニナリハシナイカ

ト思ヒマスガ、其處ノ御見解ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(總員詮三君) 最低額千圓ト云フモノヲ抑ヘマス、ソレガ事實上恩給ニ對シテハ色々率ヲ持ッコトニナルダラウト思ッテ居リマス、ソレデハハマア多額ノ所得者デアルカラ、恩給額ガ多イト云フコトハ、是ハハマア理論的ニ申セヌノミナラズ、實際ニ於キマシテモ是ハ區々デアリマス、案外低イ階級デ少イ恩給ヲ貰ヒマシテ、財産ハ非常ニ澤山持ッテ居ルト云フ人モアリマス、サウ云フヤウナ人ニナリマス、殆ド停止サレナイト云フヤウナ場合ニマアナル譯デアリマス、ソレハ現行法上當然覺悟ハ致シテ居リマスケレドモ、其ノ方ニ強ク抑ヘラレバ、上ノ方デ大キイ階級ヲ抑ヘマシテモ、矢張り其處ニ拔ケル穴ハ依然トシテアルノデスカラ、其ノ穴ガアルカラ、コチラノ方ノ穴ガ開イテ居ッテ宜シイトハ申上デマセヌケレドモ、矢張りドチラニシマシテモ、多少ノ穴ト申シマセウカ、缺點ト申シマセウカ、矢張り不合理ニ考ヘラレルヤウナ部分ガ有リ得ルノデアリマス、外ノ方ニアルカラ、コチラノ方ニアツテモ宜イノデヤナイカト云フコトハ申セマセヌガ、少々御答メヲ受ケルト困ル譯デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトモアリマシテ、矢張り一長一短デ必ズシモ是デ宜イトバカリモ申セヌデヤナイカト思ッテ居リマス

○柴田善三郎君 段々御話ヲ承リマシタガ、私吞ミ込ミガ惡イノカ、マダドウモ尤モダト云フ所ニ了承致シマセヌガ、速記ヲ取リナガラ斯ウ云フコトヲ承ルト云フト、自然御話ノシニクイ點モアルデハナイカト思ヒマスシテ、或ハ吞ミ込ミメナイヤウナ御説

明ガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、若シ御許シ願ヘマスルナラバ、暫ク懇談ニ移シテ戴イテ、モウ少シ吞ミ込ミメタルヤウナ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、ソレデナイト、私共ハ贊成スルニシテモ、何ダカ無理ヤリ贊成ナセラレルダケデ、是ハハマア斯ウ云フ御說明デアツタカラ原案ニ假ニ贊成シタト云フ……委員長ガ御報告ニ相成ルニ付テモ、サウ云フ風ニ御報告ニ相成ルダラウト、斯ウ云フコトヲ私ハ心配致シマスガ、如何デゴザイマセウカ

○委員長(子爵加藤泰通君) 伺ヒマスガ、柴田委員ノ御希望ハ、速記ヲ停止シテ政府委員ト懇談シタイト云フ御希望デスカ

○柴田善三郎君 ハア

○委員長(子爵加藤泰通君) 御諮リ致シマスガ、今柴田委員カラ速記ヲ停止シテ政府委員ト懇談ヲシタイ、斯ウ云フ御案ガ出デ居リマスガ、左様取計ラッテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵加藤泰通君) 御異議ナイト認メマス、デハ速記ヲ停止シマス

〔速記中止〕

○委員長(子爵加藤泰通君) 速記ヲ開始シテ下サイ

カラ御質問ノアリマシタ所デ、私答辯致シマシタ部分ニ少シク間違ッタ所ガアリマシタ、此ノ際極ク簡單ナコトデスカラ、訂正致シテ置キタイト思ッテ居リマス、一昨日ノ御尋ネニ多額所得者ノ所得ニ付テノ調査ハ稅務署デアルノカ、稅務署デヤツタ場合ニ其ノ出來タ結果ヲ其ノ儘恩給局ガ採用スルノカ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、ソレデ左様デアリマス、稅務署デ調査シテ與レタ數字其ノマシタ、稅務署デ調査シテ與レタ數字其ノモノハ、其ノ儘ニ恩給局デ採用致スコトハ、其ノ點ニハ間違ヒアリマセヌガ、唯其ノ額ガ所得稅ノ爲ニ決メラレル額、即チ或ハ勤勞所得ノ控除ヲスルトカ、家族ノ爲ノ控除ヲスルカ云フコトガ所得稅ノ方ニアリマスガ、恩給ノ方デハ勤勞所得ノ控除、ソレカラ扶養家族ノ爲ノ控除ト云フヤウナコトヲ致シマセヌデ、出來テ來タ數字ヲ其ノ儘ニ用ヒテ居リマスノデ、一昨日申上デマシタ年度ノ關係デ、或ハ違ヒヲ生ズルノデアリマセウト云フコトヲ申上デマシタガ、ソレモ生ジマスケレドモ、其ノ外ニ今申シマシタヤウナ實質上ノ喰ヒ違ヒガアリ得マスノデ所得稅ヨリカモ、一々査定ヲ受ケルト云フコトニナル場合ガアリマスノデ、其ノ分ヲ追加訂正致シテ申上デ置キタイト思ヒマス

○村上恭一君 御深切ナ訂正ノ御答辯誠ニ有難ウゴザイマス、サウ云フコトニ付キマシテ尙念ノ爲ニ重ネテ伺ッテ置キマスガ、所得稅賦課ノ爲ノ所得金額ノ決定ニハ幾多ノ控除ガアルヤウニ思ヒマス、今一々其ノ種類ヲ覺エテ居リマセヌガ、御話ノ勤勞所得ニ對スル控除ガアリ、ソレカラ家族ノ控除ガアリ、更ニ保險ノ控除モアルト思ヒマス、

コチラノ恩給ノ停止金額ヲ決定スル場合ノ所得金額ノ決定ニ當リマシテハ、一切ノ控除ハナイ、勤勞所得ノ控除モ、家族ノ控除モ、保險ノ控除モ、其ノ外所得税法ニ規定シテアリマス一切ノ控除ガナイト、斯ウ心得テ宜シイノデアリマス。

○政府委員(編貝三君) 左様デゴザイマス、御説ノ通りデゴザイマス。

○村上恭一郎君 分リマシタ。

○三井清一郎君 極ク簡單ナコトデスガ、或ハ大藏省ノ政府委員ノ御出デラ願ツタ方ガ宜イノカモ知レマセスガ、先ヅ御尋ラシタイト思ヒマス、此ノ受恩給者ノ恩給ノ支給期ガ御承知ノ通り一月、四月、七月、十月ト云フ風ニ四回ニ分ツテ居リマス、之ヲ一箇月線上デマス、受恩給者ガ生活上都合ガ好イト云フコトハ、受恩給者ノ聲デアル、何故カト申シマス、暮ノ節季ガ濟ミマシテ、一月ニ恩給ヲ貰フノト、十二月ニ恩給ヲ貰フノトハ、非ニ非常ニ關係ガアル、十二月ニ貰ハス爲ニ一々高利貸ヘ行ツテ季節ノ切り拔ケヲヤルトカ云フヤウナコトガ、多ク高利貸ニ乗ゼラレル原因ヲ爲シテ居ルト云フコトハ事實デアル、之ヲ一箇月恩給ヲ線上デマスト結局下ナルカト云フト、新年度ニナツテ政府ガ四月支拂フノヲ三月ニ線上デマスカラ千何百萬圓カ、二千萬圓近クノモノガ、一期線上デテ支給セナケレバナラスト云フ事實ガ生ジテ來ルカラムゾガシイノデヤナイカト思ヒマスガ、苦シサウ云フ御詮議ガ出來ルト受恩給者ノ幸福デアラウト考ヘマスガ、如何デアリマセウカ。

○政府委員(平木弘君) 只今ノ恩給ノ支給期日ノ問題デアリマスガ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、一月、四月、七月、十

月、斯ウ云フ風ナ支給ニナツテ居リマシテ、之ヲ一箇月線上デマスコトハ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、暮ノ關係、或ハオ盆ノ關係、或ハ入學期等ノ關係ニ於キマシテ、受給者ハ非常ニ便益ヲ得ル問題ダラウト考ヘルノデアリマス、サウ云フ點カラ申シマスレバ、恩給局ノ立場ト致シマスレバ、出來ルダケ早クサウ云フコトヲ實現シタイト實ハ思フノデゴザイマスガ、御承知ノ通り四月分ノ恩給ノ支給ハ一月、二月、三月分ヲ四月ニ全部支給スルコトニナツテ居リマスガ、一月、二月分ヲ三月ニ支給スルト云フコトニナリマス、二月分ダケ、六分ノ一ダケ、初年度ダケノ問題デアリマスガ、毎年ノ問題デナイガ、變更スルト初年度ダケ六分ノ一デ現在約一億九千萬圓カラ二億圓ノ恩給デゴザイマスガ、チヨット三千萬圓以上ノ金額ヲ初年度ニ限り増額シナケレバナラスト云フ問題ニナリマス、現在ノ處果シテ左様ナコトガ出來ルカドウカ、非常ニ困難ナ問題ガアルダラウト考ヘマスガ、出來ルダケサウ云フ方面トモ折衝致シマシテ、出來マスナラバサウ云フ風ニシタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○子爵米田國臣君 チヨット簡單ニ伺ヒマスガ、今度ハ三十五條ト九十二條ノ改正ニ依リマシテ、滿洲ノ國境守備ガ三段ニナツタコトハ誠ニ結構ナコトダト存ジマス、ガ樺太ノ國境デアリマスガ、此ノ表ヲ拜見シマスト附表ノ第二號表デアリマスガ、ソレニ依ルト數番附近ハ三分ノ二ノ加算ガアルヤウニナツテ居リマス、或ハ一部分ハ三分ノ一ノ加算ガアルヤウニナツテ居リマス、ソレカラ尙危險區域ノ勅令デゴザイマスガ、之ニ依リマス朝鮮ト臺灣ハ出テ居ルノデ

アリマスガ、樺太ハ拔ケテ居リマス、樺太ノ關係ハドウ云フ風ニナツテ居リマス、最初ニソレヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(平木弘君) 樺太ハ現在半箇月ノ在勤加算ガ一般的ニ加算ニナツテ居リマスガ、其ノ外今度國境方面ニ付キマシテハ、是ハ勅令以下ノ問題ニナリマス、マダハツキリシタコトハ申上ゲラレマセス。

○子爵米田國臣君 アノ國境ヘハ一昨年私視察ニ參リマシタガ、警官ガ居リマスネ、アレハ結局第九十二條ノ今度ノ改正ニナリマス滿洲國ノ國境警備加算ハ一月ニ付二月、帝國ノ國境警備加算及理蕃加算、是ハ前ト同ジニ半箇月、サウ云フコトニナツテ之ニ入ラナイノデゴザイマス。

○政府委員(平木弘君) 此ノ法律カラ見マスルト、入り得ルコトニナリマスガ、之ヲ指定スル場合ニ、現在迄ハヤツテ居ナカッタノデアリマス、併シ最近ノ色々ナ情勢カラ考ヘマシテ、新タニ此ノ問題ニ付キマシテハ、今後考ヘヨウト斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ勅令以下ノ問題デアリマス、確定のニナルコトヲ申上ゲ兼ネマスガ、大體一箇月半カ、其處等ノコトヲ考ヘル必要ガアリハセスカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○子爵米田國臣君 先年私參リマシタ直後ニモ射擊事件ガアリマシタ、又此ノ間モ警察官ガ射擊サレマシタ、サウ云フ風デ危險ナ地帯デアリマスガ、今ノ御話デ能ク分リマシタ、サウ云フ風ニ御考慮ヲ願ヒマシマセウカ、此ノ恩給法中改正法律案ニ付キマシテノ質疑ハ殆ド終ツタト考ヘマスガ、終ツタモノト認メテ宜シウゴイザマス。

○三井清一郎君 大體質疑ハ終ツタヤウデゴザイマスガ、色々各委員ノ御意見モアリマスノデ、本案ノ討論ニ入ル前ニ當ツテ、委員ダケノ懇談會ヲ希望致シマス。

○委員長(子爵加藤泰通君) 三井委員ノ只今ノ御提議ニ御異議デゴザイマセスカ。

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵加藤泰通君) ソレデハ委員ノミニ懇談會ヲ是カラ開キマス。

午前十一時十二分懇談會ニ移ル。

午前十一時三十一分懇談會ヲ終ル。

○委員長(子爵加藤泰通君) ソレデハ會議ヲ續行シマス、此ノ前會計検査院法中改正法律案及ビ裁判所構成法中改正法律案、此ノ質疑ヲ打切ッデアリマセスガ、打切ルコトニ御異議デゴザイマセスカ。

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵加藤泰通君) 然ラバ順序ト致シマシテ會計検査院法中改正法律案、之ヲ議題ニ上セマス、討論ヲ願ヒマス。

○黒崎定三君 只今議題ニナリマシタ會計検査院法中改正法律案ノ内容ハ、唯同院ノ事務處理ノ爲ニ検査官及ビ副検査官増員ノ内容ダケデアリマス、會計検査院ノ機能カラ見マスレバ寧ロ其ノ乏シキヲ憂フル程度デアラウト考ヘマス、本案ハ原案通りニ確定セラレテ然ルベキモノト考ヘマシテ、賛成致シマス。

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵加藤泰通君) 如何デゴザイマス、只今ノ黒崎君ノ御意見、別ニ御異議デゴザイマセスカ……是ハ原案通り可決致シマス、次ニ裁判所構成法中改正法律案、之ニ付キマシテ討論シマス。

○黒崎定三君 本案モ其ノ改正ノ内容ハ極メテ簡單ナモノデアリマス、現ニ裁判所ノ方ノ書記課ニハ委任官タル書記長ガ設置サレテアルノデアリマスルカラ、之等ト比較シテ考ヘテ見マスルト、検事局ノ方ニモ上席ノ書記ヲ書記長タル委任官ニ昇格スルコトハ適當ナコトデアラウト思ヒマスノデ、原案ニ賛成シタイト思ヒマス

○委員長(子爵加藤泰通君) 原案可決ト云フコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長(子爵加藤泰通君) デハ可決ト云フコトニ決定致シマス、最後ニ恩給法中改正法律案ノ討論ニ移リマス

○村上恭一君 本案ノ恩給法ノ改正ハ數多ノ件ヲ含ンデ居リマス、一ツノ點ヲ除キマスル外ハ私ハ何等異存ヲ感ジマセヌ、此ノ儘御可決ニ相成ツテ宜シイコトノヤウニ思ヒマスル、除外シマスル一ツノ點ト申シマスルノハ、前回以來熱心ニ審議サレテ居リマスルノ多額所得者ニ對スル恩給ハ停止ノ點デアリマス、條文デ申シマスレバ、第五十八條第一項第四號ノ改正デアリマス、此ノ條項ハ現行法ニモアリマスル、之ヲ改正スル、現行法デ認メテ居リマスル主義ヲ更ニ強化スルト云フコトト考ヘラレマス、唯此ノ改正ガ從來ノ主義ヲ強化スルニ於キマシテ、如何ニモ徹底シナイ所ガアルト云フコトハ何トシテモ爭フベカラザルコトノヤウニ思ヒマスル、法制局長官其ノ他ノ政府委員ヨリ段々御辯明ニナリマスルガ、併シナガラ私共ニ於キマシテハ、十分ニ了解スルコトノ出來ナイ所ガアルノデアリマス、サリナガラ其ノ故ヲ以チマシテ此ノ條項ニ對スル修正ヲ進メテ行キマスルコト云フコトハ、會

期切迫ノ今日果シテ其ノ修正案ノ成立ヲ見ルコトガ出來ルカドウカ、ソレニ幾分ノ懸念モアルヤウニ思ヒマスル、デ其ノ修正ヲ進行シマスル爲ニ、結局此ノ法案全部ガ審議未了デ、不成立ト云フコトニナリマスルコトハ、又外ノ觀點カラ見マシテ適當デナイヤウニ思ヒマスル、私ニ於キマシテハ此ノ第五十八條第一項第四號ノ改正ハ、如何ニモ不徹底ト云フコトニ對ナカラザル遺憾ヲ感ジマスルガ、併シナガラ切メテハ之ヲ成立セシムルヤウ、又外ノ差支ナイ點ノ成立ヲ妨ゲマイト云フヤウナ考ヲ以チマシテ、已ムヲ得ズ此ノ改正案ノ原案ニ賛成スルト云フコトニ私ハ考ヘマス

○三井清一郎君 私ハ今日ノ時局ニ於テ、今般御提出ニナツタ恩給法中改正法律案ハ誠ニ適當ト考ヘマス、即チ勤務、地域、其ノ他ノ事情ニ依リ恩給年加算法ヲ適正ナラシメ、又弱年者及ビ高額所得者ノ恩給停止率ヲ御改正ニナリ、戸籍届出ニ關スル取扱ノ不備ヲ補正セラレ等、幾多此ノ法律案ハ時局ノ線ニ沿フテ最モ緊要ナルコトヲ認メルノデアリマス、高額所得者ノ恩給停止ニ付テハ只今村上サンノ御意見モアリ、又質疑應答ノ際ニ柴田サンノ御意見モアリマシタガ、今日ノ時局カラ考ヘマスト、此ノ程度ノ改正ハ、前回ノ改正ヲ回顧シテ適當ナ改正デヤナイカト思フ、故ニ政府ノ提案ニ對シテ全幅ノ心持ヲ以テ原案ニ賛成ヲ表シマス

○柴田善三郎君 私モ村上委員ノ言ハレタト同ジヤウナ意味ニ於テ原案ニ賛成致シマス

○村上恭一君 私ハ此ノ恩給法ノ改正案ニ付テハアリマセヌガ、此ノ機會ニ於キマシテ恩

給法、又其ノ事務ノ取扱ニ關スル一二ノ希望ヲ述べルコトノ御許シラ戴キタイト思ヒマス、第一ニハ此ノ恩給法ト云フ法律ガ如何ニモムツカシイ、如何ニモ難解ナモノダト云フコトデアリマス、是ハ公務員全體今日ニ於キマシテ、恩給ヲ受ケテ居リマスル者ハモウ四十萬人ヲ超エテ居リマスル、左様ナ多數ノ人ノ生活ニ直接ノ關係ノアル法律デアリマスルガ、如何ニモ分リニクイノデアリマス、一般ノ人ニ於キマシテ一體自分ハ幾ラ恩給ヲ貰フ權利ガアルノカト云フコトハ分ラナイ、各官廳ニ此ノ恩給ノ事務ヲ取扱フ係員ガアリマシテ、ソレハ能ク承知シテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ方ニ説明ヲ聞キマシテモ、ナカク分ラナイ、マアサウ言ハレルトナカク、間違ヒナカラウト言ッタヤウナコトニナツデシマフノガ多イヤウニ思ヒマス、ドウシテ此ノ法律ガ難解デムツカシイノデアリマセウカ、之ニハ其ノ然ルベキ理由モアルノデアリマセウ、已ムヲ得ナイノカモ知レマセヌ、ソレナラバ私ハ此ノ法律ノ深切ナ註釋ヲ作ツテ戴キタイ、ソレハ恩給局デ編纂シテ公ノ權威ヲ持タセル、國法上ノ效力ノアルモノトハ言ヒマセヌガ、恩給局デ責任ヲ持ツテ編纂ナサレバ自ラ強イ權威ヲ持ツ譯デアリマス、サウ云ツタヤウナコトモ一ツ恩給法ヲ分リ易クスルコトノ手段デハナイカト思ヒマス、恩給法ノ公定ノ解釋ト言ツタヤウナモノ、ソレヲ深切ニ綿密ニ作ツテ御覽ニナツデ戴キタイト云フコトモ宜クハナイカ、當局ニ於テ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、要スルニ恩給法ガ如何ニモ分リニクイカラ、之ヲ簡捷ニ、分リ易クスルヤウニシテ戴キタイト云フコトダケデアリマス、第二ハ恩給事務ノ取扱ヒデアリマス、

ソレガ遅イト云フコトデアリマス、其ノ遅イ例ハ幾ラモアルヤウデアリマス、ココニハツクリシタ計數ヲ持ッテ居リマセヌガ、自分ガ退官シテ恩給裁定ノ請求書ヲ出シテ、ソレカラ裁定ヲ受ケテ恩給證書ヲ戴ク迄ニ何年何箇月掛カッテ居ルカト云フ、サウ言ッタヤウナ詳シイ計數ハ持ッテ居リマセヌガ、屢、聞クコトデアリマスガ、ドウモ恩給ガ遅クテ困ル、人ヲ擧ゲル譯ニハ參リマセヌガ、私ノ聞キ及ビマシタ一二ノ例ヲ申上ゲマスト、東京帝國大學ノ教授デ退官シタ一人ノ人デアリマス、是ハ社會的地位ノ高イ人、又若干ノ富モアル人ノヤウデアリマス、其ノ人ハ私極ク懇意デアリマスノデ、私申上ゲマスガ、ドウモ恩給證書ガナカク廻ッテ來ナイ、マア自分ナドハ恩給ダケデ生活シナクテモ宜イヤウナ狀況ニ居ルカラシテ、大シテ差支ハナイガ、世間デ恩給ダケデ生活スルト云フノハ、サザ困ルデアラウト云フコトヲ泌ミト申サレマシタ、ソレハ其ノ人ガ退官シマシテカラザツト半年經ッテノ話デアリマス、ソレカラ今一ツハ是ハ地位ノ低イ方デアリマス、中等學校ノ教員デアツタノデアリマスガ、是ハ退官シマシテカラ確カニ一年以上經ッテ居タト思ヒマス、マダ自分ニ對スル恩給ノ決定ガナイノデ困ッテ居ル、貴方ガ恩給局内ニ知リ合ヒノ方ガアレバ、自分ノ分ハドンナ風ニ運ンデ居ルカ聞イテ見テ戴キタイト云フコトヲ言ハレマシテ、取次イダコトゴザイマス、是ハホソノ一二ノ例デアリマスガ、斯様ニ恩給事務ノ取扱ヒガ可成リ遅レテ居ルヤウデアリマス、是又當局ノ方ガ懶ケテ御出デニナル譯デアリマセヌカラ、已ムヲ得ナイ事情モアルノデアリマセウガ、併シ本當ニ

恩給ダケデ生活スル人ニ取リマシテハ、大
キナル問題デアリマスカラ、ドウゾソコノ
所ヲ成ルベク早ク埒ノ開クヤウニシテ戴キ
タイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、
初メニ申シマシタヤウニ、是ハ本案ニハ何
等關係ノナイコトデアリマスガ、此處ニ恩
給局長初メ、恩給局ノ幹部ノ方々ガ御出デ
ニナリマスノデ、御列席ノ皆様ノ前デ、此
ノコトヲソレダケ固ク確ト御願ヒシテ置キ
タイト思ヒマス

○委員長(子爵加藤泰通君) 別ニ御議論モ
ナケレバ採決致シマス、本案可決ト云フコ
トニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵加藤泰通君) 御異議ナイト
認メマス、是デ當委員會ニ付託セラレマシ
タ、三案共終了致シマシタ、散會致シマス

午前十一時四十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵加藤 泰通君

副委員長 男爵渡邊 修二君

委員

公爵鷹司 信輔君

侯爵井上 三郎君

子爵米田 國臣君

子爵波多野 二郎君

村上 恭一君

三井清一郎君

柴田善三郎君

男爵井田 馨楠君

黒崎 定三君

男爵井上 清純君

結城 安次君

内閣恩給局長 平木 弘君

法制局長官 廣瀬 久忠君

法制局參事官 樋貝 詮三君
司法省民事局長 坂野 千里君